



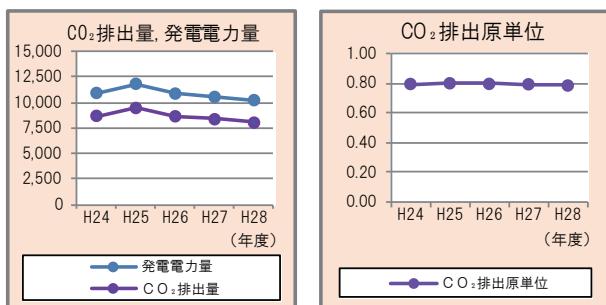
地球環境保全に関する取り組み

2017 JOBAN

勿来発電所では、事業活動に関する環境法令および関係自治体との協定を遵守するとともに、循環型社会の形成に向けて、廃棄物の発生抑制や再利用・再資源化を積極的に行い、環境保全に努めています。（データについては、過去5年間の主な項目について示しています。）

(1) 大気環境について

① CO₂排出量、発電電力量及びCO₂の排出原単位

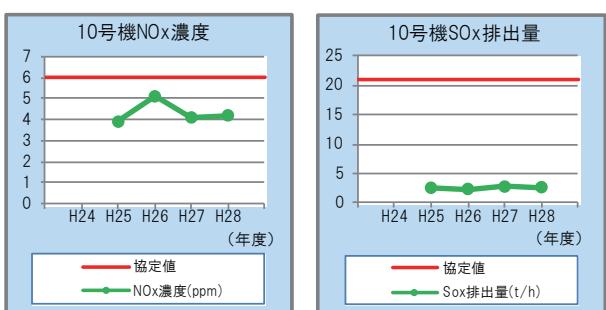
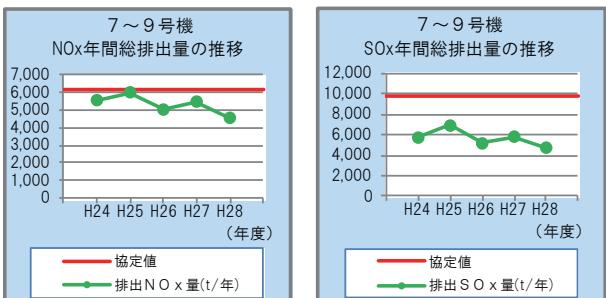


年度	発電電力量 (×1000MWh)	CO ₂ 排出量 (×1000t)	CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /kWh)
H24	10,940	8,687	0.794
H25	11,841	9,463	0.799
H26	10,877	8,648	0.795
H27	10,549	8,359	0.792
H28	10,233	8,023	0.784

② 協定値との比較 (NOx、SOx)

7～9号機および10号機とも、市協定値を遵守していることを確認しています。

（※平成24、25年度は6～9号機合計排出量）



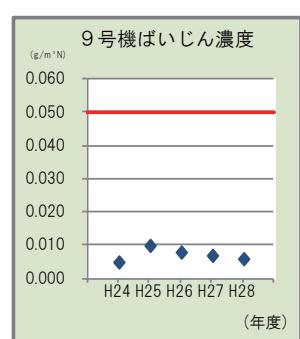
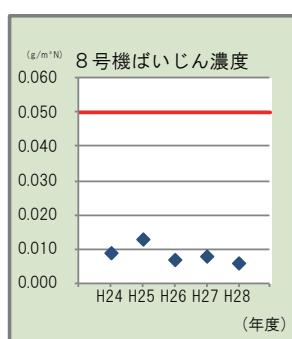
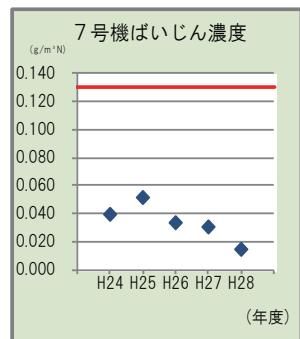
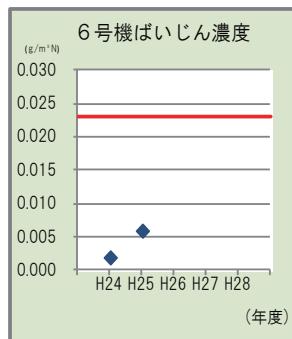
③ 排ガス中の有害物質

県条例で規制している有害物質4項目（カドミウム、鉛、水銀、クロム）について、対象ユニットの7～9号機で年2回の測定を行い、すべてにおいて条例規制値を遵守していることを確認しています。

④ 6～10号機のばいじん

市協定値を遵守していることを確認しています。

※各グラフは、年度最大値を示し、—は市協定値です。
ばいじん測定は、6～9号機は2ヶ月に1回、10号機は6ヶ月に1回実施





地球環境保全に関する取り組み

2017 JOBAN

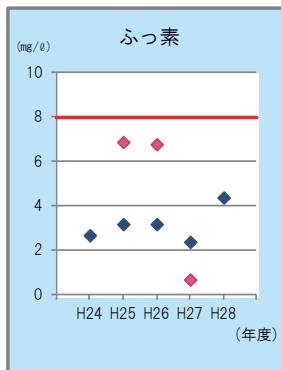
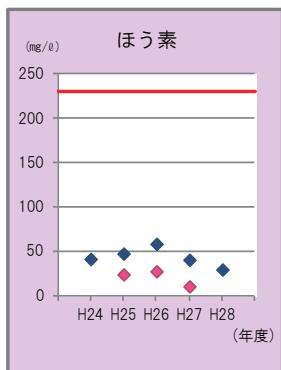
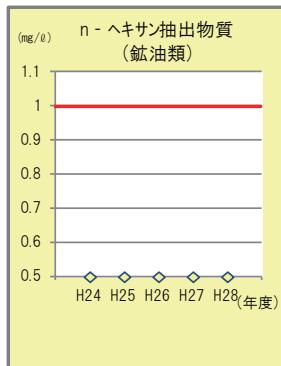
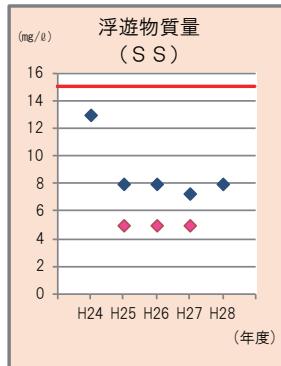
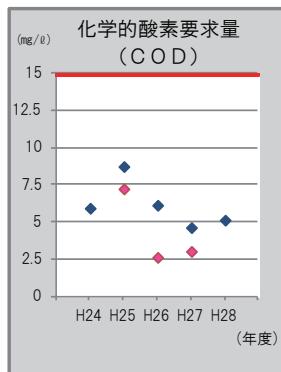
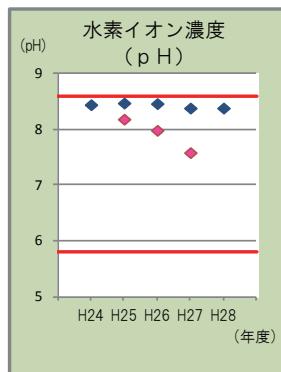
(2) 水質環境について

① 発電所排出水

水質汚濁防止法および福島県条例の水の汚染状態を示す項目および有害物質に係わる項目において、規制値を遵守していることを確認しています。

※ 各グラフは、年度最大値を示し、—は規制値です。
(水質分析は3ヶ月に1回分析会社にて実施)

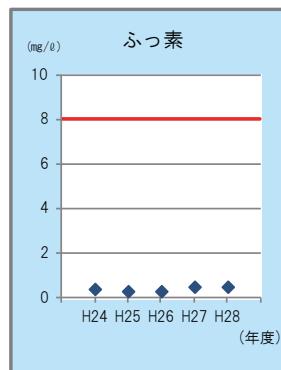
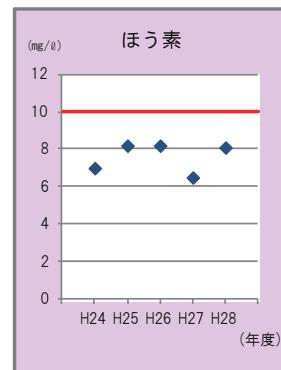
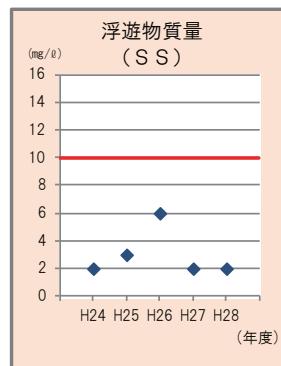
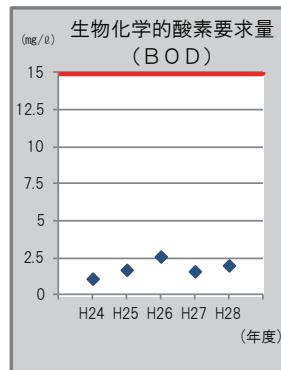
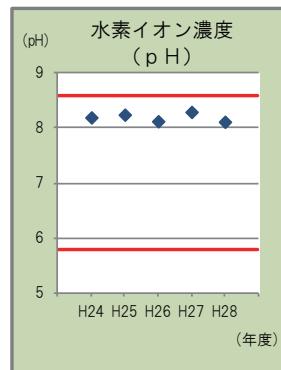
◆…No.1採水地点、◆…No.2採水地点
(H27.6.18以降は、排水系統の1本化により◆地点で確認)



② 添野石炭灰処分場排出水

水質汚濁防止法および福島県条例・いわき市産業廃棄物処理指導要綱排水基準における、水の汚染状態を示す項目および有害物質に係る項目において、規制値を遵守していることを確認しています。

※ 各グラフは、年度最大値を示し、—は規制値です。
(水質分析は年1回分析会社にて実施、pH・BOD・SSについては月1回自社分析を実施)



用語説明

化学的酸素要求量(COD) …………… 水中の被酸化物質を酸化するために必要とする酸素量で示したものです。

生物化学的酸素要求量(BOD) …………… 水中の有機物が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要とする酸素量で示したものです。

n-ヘキサン抽出物質…………… n-ヘキサン(リマルヘキサン)という有機溶媒によって抽出される不揮発性の物質の総称で、水中の油分の指標の一つです。